

# 1 水のじゅんかん

ぼくたち水のふるさとは、高い空の上にある大きな雲です。雨雲から雨や雪になり、山や野原の地上に舞い降りた時から、水の長い旅が始まります。

雨水や雪どけ水は、地面にしみこんで地下水になったり、せせらぎや小川になったりして旅をつづけます。やがて、あちこちのせせらぎや小川は大きな川となり、海に流れていきます。

ぼくたち水は海で暖かい日ざしを浴び、じょう発して水蒸気となって空に舞い上がり、ふるさとの雲に帰ります。そして、また雨や雪になって地上に降りてきます。こうしてぼくたち水は終わりのない長い旅をくり返しつつづけています。

このことを「水のじゅんかん」といいます。

この「水のじゅんかん」の中で、みなさんは毎日の生活にたくさんの水を使っています。そして、水道と下水道は365日24時間休むことなく「水のじゅんかん」をサポートしています。

みなさんの家では、じゃ口をひねるといつも水が出ます。この水はどこから来たのでしょうか？

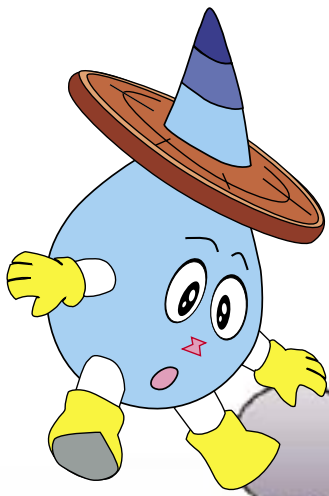
そして、みなさんが使って汚れた水は、どうなるのでしょうか？



とよがわ みかみ ふきん  
豊川三上付近



しんしろ せんまいだ  
新城市千枚田



水は、  
じゅんかんしているんだね。

